



社会福祉法人

福井市社会福祉協議会

〒910-0018 福井市田原1丁目13-6
フェニックス・プラザ1階(福井市民福祉会館)

TEL 0776-26-1853

FAX 0776-26-9109

HP <http://www.fukuic-shakyo.jp/>

<https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>

info@fukuic-shakyo.jp



こちらの二次元コードから、当会Webサイトの社協だより掲載ページにリンクできます。PDF形式とテキスト形式(*文章のみ)で公開しています。

まごころ

わたし×ふくし

= “いま” を楽しむ!



わたし×ふくし

ミニインタビュー



今回の表紙

「NPO法人ふくい子どもホスピス」の皆さん

ふくい子どもホスピスは、代表の石田千尋さんが、小児がんと闘う息子さんをドイツの子どもホスピスで見送った経験をきっかけに令和3年に立ち上げた団体です。今回は、ふくい子どもホスピスの皆さんにインタビューしました。

Webサイトはこちら▶



●どんな活動をしていますか？

私たちが目指すのは、医療の場ではなく治療中や治療後にいつでも家族や地域の人が利用できる「第2のおうち」のような場です。現在は、闘病中の子どもやご家族と交流する「かぞく会」や、ご家族と死別した悲しみに寄り添う活動、広報活動などを通して病気と闘っている子どもたちやご家族をサポートしています。「ふくい子どもホスピス」開設を実現するため、まずは私たちの活動を多くの人に知っていただくと嬉しいです。

●活動の中で大切にしていることは？

病気と闘っている子どもたちは小さな英雄です。でも、久しぶりに病院から家に帰ったとき、周りの人に隠さないといけないようにも感じ、「こんなに頑張っていることをなぜ隠さないといけないんだろう」と悲しく感じました。活動を通して、子どもたちが病院という限られた場だけでなく、地域で色々な人とつながり、「きょうも1日楽しかったね」と笑いあえることを日常にしていきたいです。

●『わたし×ふくし＝“いま”を楽しむ!』の解説をお願いします!!

子どもたちは、病気と闘いながらも“いま”を生きていて、新しいシーツのパリッとした感触や日々のちょっとした出来事など、闘病中でも笑顔になれる瞬間があることに気づかせてくれます。私たちの理念に「関わるすべての人が誇りを感じられる活動を後世に受け継ぐ」というものがありますが、活動を続けてきて、この想いがより強くなりました。病気と闘う子どもたちや家族へのリスペクトを忘れずに、皆が一緒になって“いま”を楽しみ、誇りを感じるような「子どもホスピス」をつくりあげたいと思います。

CONTENTS

- 2 豊地区子ども福祉委員活動等
- 3 自治会型デイホーム事業
- 4 赤い羽根共同募金のお知らせ
- 5 福井市民福祉大会等
- 6 ブックサイクルと絵本の読み聞かせ
企業・団体の社会貢献活動
- 7 足羽川ふれあいマラソン
寄附・寄贈
- 8 児童館職員募集等